

熱き男たちの
燃えさかる魂



広報のと

第66号

平成22年8月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1字197番地1

☎0768-62-11000(代)
能登町URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp

8

平成22年

【写真】あばれ祭二日目のクライマックス。八坂神社
境内で最後の大暴れをする白山神社方のあばれ神輿
(7月3日午前2時ごろ)

の
能登
英国
日
和
イギリス

能登町を古里として
英国で活躍する抒情書家

室谷文音がつづる
フォトエッセイ。



初めて浴衣を着て、大喜びのマリーナとご主人のパスカル。「2010年・世界中の人を能登へ呼ぼう！」私たちの夢に合わせて、ハネムーンも兼ねて日本へ来てくれました。



能登ではどんな急な山の斜面にでも田んぼがあるように、フランスの田舎では、丘の上までワインのためのぶどう畑でいっぱいです。

「絆 ぎずな」

宇出津の「あばれ祭」に合わせて、フランスから私の親友、マリーナが初めて日本へ来てくれました。イギリスの高校で出会った彼女は、モルドヴァ（ルーマニアの隣国）出身で、奨学金を受けてイギリスに留学。15歳で5カ国語をペラペラ話しました。

ところが、頭のいい彼女でも大学進学となると学費が払えず、夢をあきらめて国に帰らなければならぬところまで来ていました。ルームメイトだった私は、落ち込む彼女を見て「日本人である」ということがいかに恵まれているか、痛感しました。

「娘が二人いると思ってマリーナの学費も出そう！」マリーナに会ったこともない父と母。私の言葉をただ信じてくれました。

決してお金持ちでない私たちが助けたため、大学4年生の時の学費が出せなくなりました。すると「地球の反対側から応援してくれる人がいる。そはの私たちも力にならなければ」と大学の教授が残りの学費や住まいの世話もしてくれたのです。

卒業後、マリーナはパリの銀行に就職。22歳の若さで、弟の学費と両親への仕送りを始めました。

「アヤネの両親が最初の重い一歩を踏み出してくれたから、それに感動して、みんな『自分に出来る範囲』で助けてくれたの。私も感謝の心を次につなげていきたい」

能登を去る時、彼女はそう言ってくれました。



室谷文音（むろや・あやね）

昭和55年大阪府生まれ。13歳で渡英し、名門セントラル・セイント・マーティン美術大学を卒業。平成18年に両親と共に京都府美山町から移住。内浦長尾にアトリエ「桃花林」を構える。現在は次の展覧会に向けて作品を制作中。

『風といつしょ』

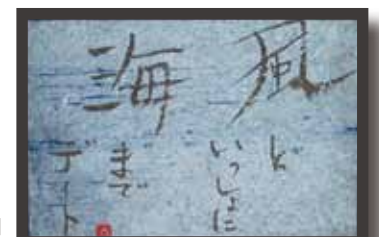


Photo Report
Abari Matsuri
July 2-3, 2010

あばれ祭 2010

八坂神社（宇出津）の祭礼「あばれ祭」は7月2、3日両日に開催され、能登のキリコ祭りのシーズン到来を告げた。初日の夜は、役場前「宇出津港いやさか広場」で40数本のキリコが大松明の周りを乱舞。二日目は2基のあばれ神輿が道路や川、境内で大暴れしながら八坂神社に入り宮した。

数ある能登の祭りの中でも勇壮な祭りとして知られる「あばれ祭」の特徴や意義は一。45年前、宇出津祭礼委員会が発刊した一冊の貴重な資料を基に「あばれ祭」の本質に迫る。



あばれ祭の起源



能登半島「宇出津のキリコ祭り」
小倉学著 / 宇出津祭礼委員会発行
(昭和40年)

あばれ祭の由来や本質を明らかにしたい。
1965(昭和40)年、宇出津祭礼委員会の熱意が民俗学の権威・小倉学博士を動かした。小倉博士は他事を投げ打って調査研究を行い、あばれ祭の歴史をひもといた。

宇出津の八坂神社

須佐之男命とその后神の奇稲田姫命の二柱をまつる八坂神社は、カンノジ山のふもとに鎮座する。須佐之男命は天照大神の弟神で、高天原から出雲国にくだつて八岐大蛇を退治し天叢雲剣を得て奇稲田姫命と結婚。出雲国開発の祖神となった勇武の神で、牛頭天王と習合し平安時代に京都の祇園社にまつられてから厄除神・防疫神として広く崇敬された。古来、カンノジには観音寺と呼ばれる古寺が鎮座していた。安永6年(1777年)の『能登名跡志』には 元観音寺として、町野への行往来の谷内にあり、今は

寺なく、観音塚と云也、(中略)と記され、さらに 今は六月七日祇園会の御旅所也、と述べられている。

安永のころ、カンノジには八坂神社はなく、祭礼時に御旅所として神輿が渡御して神事を行っていたことが分かる。

八坂神社の旧社地は、昭和町の町端家(通称アメヤ)と考えられている。伝承によれば、アメヤの先祖がカンノジの神様(八坂神社の神)を海から拾い上げて奉祀したのだという。それを裏づける行事が今も行われている。

祭礼一日目の朝、白山方の神輿は八坂神社での祭典のあと、真つ先に町端家に向かい、神事してから氏子町内へ渡御する。二日目の夜も梶川で暴れたあとに

町端家に向かい神事を行う(写真右下参照)。昭和町のキリコの浮字「是神洲」の三文字は、ここに旧社地があったことを記している。

あばれ祭の由来

八坂神社の創立とあばれ祭の起源について「昔、泥棒風と呼ばれた悪疫が流行、住民の病死するものが続出して悲惨この上ないありさまだった。当時、宇出

津に在住する十村の桜井源五が、これをいたく憂え、京都の祇園社から牛頭天王を勧請して盛大なる祭礼を始めた。その時、大きな蜂があらわれて住民を刺すのであったが、不思議なるかな、住民はたちまち快癒した。この蜂こそ神霊の化顯であると霊威をかしこみ、大きなキリコを作って

大泥棒ボー 蜂やさいた。

とはやしつづ練り回ったところ、悪疫はことごとく絶滅するにいたった」と伝承

されている。

しかし、宇出津は古くから港町として栄えた地であり、夏にはたびたび疫病の流行もあったであろうと考え、伝承より以前に牛頭天王を防疫神としてまつってきたことも推測される。

臨時的な神事を行ってきたところに、十村の源五が社殿を造り、神事祭礼を盛大に行い、今日の八坂神社の基礎をつくったと考えることもできると小倉博士は資料の中で述べている。

十村の桜井源五

あばれ祭をはじめたとされる十村の桜井源五。十村とは大庄屋に相当するもので、数十村を合わせた組を支配していた。

初代の源五は、明暦元(1655)年に柳田村へ十村として移り、23村を支配。10年後の寛文4(1664)年に宇出津村へ移転し、延宝4(1676)年に病死した。その墓は、海前寺(宇出津)にある。3代、5代と源五を名乗るが、初代源五は傑物として知られ、あばれ祭をはじめた源五は初代源五だと考えられている。

宇出津祭礼委員会は、1664年に初代源五が宇出津に来たことを考え、昭和40(1965)年にあばれ祭の三百年祭を盛大に行った。

祇園祭りの能登版

日本各地に広く見られる祇園祭りの系統に属するあばれ祭。その最大の特徴は、単純に祇園祭りを模倣したものではなく、能登地方の夏祭りとして知られるオスズミ祭り(納涼祭)の形態、つまりキリコや柱松明などを加えて「祇園祭りの能登版」を作り上げたこと。この特徴が、全国に類のない祭礼として大きく注目を集める理由となっている。



八坂神社社殿。古くは祇園社・祇園宮・牛頭天王社と呼ばれたが、明治に入ってから八坂神社に改められた。現在八坂神社奉賛会によって管理されている。



墓碑は風化してほとんど消えているが、右側に初代源五が亡くなった「延宝四年」(1676年)と残る。あばれ祭直前の6月29日には、祭礼委員や神輿の担ぎ手ら12人が源五の墓を参った。





① 棚木づめ（新村通り）の様子。キリコが入り乱れるのは今も昔も変わらない。
② 父親が子どもキリコを飾り付ける。
③ キリコのふき掃除をする子どもたち。
④ 町内を回った神輿を清めるため御旅所付近で海に投げ入れられる酒垂方の神輿。
⑤ 入り宮の道中、新町通りで暴れる神輿。早く行け、まだ早いともみ合いを続けるシーン。神輿はロープに縛られ、やっと形を保っている。
※写真はすべて「宇出津のキリコ祭り」から



45年前のあばれ祭

資料「宇出津のキリコ祭り」には、祭りの行事だけではなく、祭礼委員会や町内の経費、キリコの構造や浮字・町紋についてなどが詳細に記述されている。45年前から変わった部分、変わらない部分がある。その変遷とあばれ祭の特徴をまとめた。

名称と祭日の変遷

この祭りは、夏の夜にキリコ40数本が笛・太鼓・シャギリのはやしで練り回ることから、古来「キリコ祭り」と呼ばれてきた。

戦後、キリコを担いで回る時のやはし言葉「イヤサカサツサ」から「いやさか祭り」と呼び、昭和32年ごろから「あばれ祭」と呼ぶようになった。その名のとおり、神輿が大暴れするからだ。（石川県無形民俗文化財には『宇出津のキリコ祭り』として指定されている）

あばれ祭は、臨時的に行われていたものが次第に恒例化して6月7日に行うようになり、明治以後は7月7日になった（現在は7月第一金・土曜日）。旧暦6月7日は夏季で、悪疫の流行しがちなころ。

この時期に疫神をなごめて厄災を除き、幸福と平和を祈願した。

宇出津のキリコ

宇出津のキリコの特徴は①舞台が大きい②小形（高さ5〜6㍎）③ナカフクの浮字と町紋④彫り物などがある。

キリコはかつて、五間半（約10㍎）くらいが普通だったが、大正3（1914）年、宇出津に電灯がつき電線が張り巡らされてから小形化。このとき、魔灯運動が起こり、「魔灯何々」と書いたナカフクだけをワク台にのせて担ぎ回ったという。巨大なキリコは、当時宇出津沿岸で漁をしていた石崎（七尾市）の漁師に売り払ったと言われている。

かつては後方に太鼓幕があり、この幕が春の曳山に飾る人形の背景を飾った。

子どもキリコ

宇出津では、男子が誕生するとお祝いとして小さなキリコを作る慣習があり、7月の祭礼が近づくと子どもたちはこれを担ぎ出して楽しんでた。

昭和30年ころから、子どもキリコを統制して7月1日から5日まで担がせることにした。5日の夜には小学校に約150本のキリコが参集し、グラウンドを一周してから八坂神社まで行った。

祭り数日前にキリコを神社や寺などから運び出し、ふき掃除をするのも子どもたちの仕事だった。

松明おこし

あばれ祭における柱松明の役割は大きい。波止場（現在の役場前）の広場に3本。これは昭和25年に宇出津港祭りをしようとした。この松明は浜小路の町内がたてていた。

梶川上流には2本。1本は古くから新村3町内が1年交替でたて、さらに上流の1本は、昭和5年ころから酒垂神社の依頼で漆原・梅ノ木の若衆がたてていた。松明に使うシバは、古来から漆原の旧家である彦次郎家からもとめる慣習が続く、当時もその新宅あたりから購入していたという。

あばれ祭は、八坂神社の年に一度の例祭日。一日目朝の祭典後、白山方、酒垂

方の2基の神輿が氏子町内を渡御して一泊、翌日深夜に入り宮する。もとは神輿が1基で約1週間ばかり町内を巡行していたが、日数を要するというので現在のように2基の神輿になったという。

キリコの運行も現在とほとんど変わらない。一日目が棚木海岸に向かう「棚木づめ」と大松明での乱舞。二日目は入り宮する神輿のお供をする。

あばれ祭の意義

「宇出津のキリコ祭り」で小倉博士は、祭りの意義をこう記している（以下原文のまま）。

『この祭礼が宇出津全町をあげての行事とされ、全町民の盛り上がる熱意によって年ごとに盛大となりつつあることも特筆大書しなければならぬ。祭りは人の心を鼓舞する霊力を有する。一年一度の、この祭礼を期として若々しい血潮をたぎらせて明日への活動に備えようとするところに大きな意義が存する。』

また思うに、盛大な祭礼は、【人の和】のないところには実現されない。この祭礼を期として宇出津全町の和をはかり、躍進宇出津の向上発展に努力するならば、宇出津キリコ祭りの、さらに大きな意義が発揮されるであらう』

あばれ祭が歴博へ

あばれ祭が、国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）で平成25年3月から常設展示される。祭礼関係者は、展示準備を後押しするために常設展示支援実行委員会を組織。展示内容の充実に向けて全面的に協力している。実行委員長の浜中喜一さんと歴博准教授松尾恒一さんにあばれ祭への思いを聞いた。

―浜中さんの祭りの思い出は。

神輿を担ぎ、入り宮したときの感激は言葉にできません。あの感動は今の若い人も同じだろうと思います。神輿の担ぎ手しか味わうことができないものです。

昔の神輿は今のよう都合図をしてから落したりしませんでした。その雰囲気を読んで、あうんの呼吸で暴れます。けがも多かったですが、神輿で後遺症になるような大けがをする人はいません。祭りのけがは不思議と治るものです。

―桜井源五の墓を参ったそうですが。

45年前の資料には源五の墓のことが出ていましたが、わたし自身は墓があるということを知りませんでした。それで今回、祭礼委員会や担ぎ手に声をかけて祭りに墓参りをしたんです。若い人は知らない人が多かったですね。

わたしは、今の祭りを支える若い人たちに祭りの歴史や意味を知ってほしいと思っています。八坂神社について、桜井源五について、なぜ神輿がアメヤに行くのかなど、それを知ることでもっと祭りの本質に近づくことができると思っています。

―国立歴史民俗博物館の常設展示は。

展示に協力してあばれ祭を全国に発信しようと、宮司や氏子総代、祭礼委員会などのメンバーで支援実行委員会を組織しました。八坂神社奉賛会の会長ということで委員長になりましたが、委員はもちろん、地域の皆さんの協力なくしては支援していくこともできません。八坂神社の祭りをできるだけ多くの人に知ってもらうために、皆さんの理解と協力をお願いします。

あばれ祭の歴史を知ってほしい――。

―浜中さんにとってあばれ祭とは。

宇出津に生まれ、シャギリを覚え、太鼓をたたき、キリコを担ぎ、神輿を担ぎ、祭礼委員長、そして八坂神社奉賛会会長となりました。あばれ祭はわたしの人生そのものと言えるかもしれません。

あばれ祭は八坂神社の祭りですが、八坂神社には氏子があつてないようなものです。八坂神社を守るのはあばれ祭を守ること。奉賛会として、宇出津の皆さんと共に八坂神社を守っていきたいと思っています。



八坂神社奉賛会会長
常設展示支援実行委員会委員長

浜中喜一さん

はまなか・きいち（新村浜町）

神輿を荒々しく扱うことが『祈りの作法』

―国立歴史民俗博物館とは。

歴史上の偉人や政治よりも、民衆の生活や文化の歴史、その伝承に重点をおいて展示をしている国立の博物館です。今回、開館より20年を超えて、常設の民俗展示室のリニューアルを行うことになり、その中であばれ祭を展示することが計画されています。平成25年3月にオープンする予定ですが、現在まで宇出津の皆さまのご協力もあつて順調に準備が進んでいます。

―なぜあばれ祭が選ばれたのか。

あばれ祭は、新しい民俗展示室での「恐れと祈り」という、信仰に注目しながら日本人の一年の生活を考えるコーナーで取り上げられます。一年の節目となるのは言うまでもなく正月ですが、正月はも

ちを食することから分かるように、稲作に深く関係しています。

もう一つが夏に多く見られる山車や神輿の祭礼です。その元来の目的は夏にはやりやすかった病気をはらう祈りにあります。その起源は、病気の原因とされる疫神をつかさどる牛頭天王の祭りで、京都の祇園祭りが最も古く平安時代に始まり、そこから全国に波及していきました。博多や小倉、会津などをはじめ各地に特色ある祇園祭りが見られます。

夏の特徴的な行事のもう一つが「燈籠」の登場する祭りです。青森県のねぶたは、張り子の巨大な武者などの人形で知られていますが、江戸時代には箱形の燈籠で、これが変化していったものです。

このように見てくると、宇出津のあばれ祭は、病気をはらう祈りである祇園祭



国立歴史民俗博物館准教授
博士（文学）

松尾恒一さん

まつお・こういち

と同時に、ねぶたのような巨大な人形に発展する以前の、素朴な箱形をした燈籠の祭りであることが分かります。これが宇出津のあばれ祭に注目した理由です。

―実際に祭りを見られて。

映像では見たことがありましたが、通して見たのは去年が初めてでした。実際に目にして、とても感動しました。

より一般的、多くの祭礼においては、神輿は神聖なものであり、地面に直接置かれることはありません。それが地面にたたきつけたり、境内にたかれた火に投げ込まれたりするのを目の前に見ていると、事前にそうすることを知っていてもびっくりしました。20年以上、全国の祭りを見て回っていますが、その中でも特に印象に残る祭りになりました。

―展示内容はどうのように。

壁いっぱいの写真と映像を背景に、ほぼ原寸のキリコと、祭りが終わったあとの壊れかかった神輿を展示して、祭りの激しさが伝わるようにと考えています。昨年は太鼓、鐘、笛などのはやしの楽器を作りました。本年度は映像を制作し、それとキリコの彫り物の部分を作ってもらう予定です。来年度に神輿、24年度にはキリコを作っていただき、25年3月にリニューアルオープンする予定です。

実際に展示できるかどうかは、地元の方々の協力が得られるかどうかにかかっています。祭礼委員会をはじめ、役場や地域の皆さんが全面的に協力してくれることが何よりもうれしく、ありがたいことです。

5年間で「52億円」を改善

平成17年度から21年度までの5年間（第1次行政改革）の取り組み実績を報告します。
（主なもの、金額は5年間の合計）

①組織・機構の合理化

▽保育所・小中学校の統廃合…1億9700万円▽職員削減…21億3460万円▽管理職手当の削減…5290万円▽特別職の期末手当の削減…1000万円▽町議会議員の期末手当の削減…1030万円▽一般職の期末勤勉手当の削減…3億8670万円▽委員報酬の削減…2680万円▽55歳からの給料の段階的削減…3600万円

②窓口サービス等の向上

▽インターネットを利用した申請方法等の検討

③公共施設の適正管理と運営等の効率化

▽公共施設の指定管理者制度の導入…4億6450万円▽内浦クリーンセンターの休止…3170万円▽埋立処分場の休止

④財政の健全化による安定基盤の確立

▽補助金の削減…5億820万円▽公社の統廃合・解散…4530万円▽イベントの見直し…7070万円▽税等の徴収対策の強化…2億6950万円

⑤事務事業の改善・効率化

▽病院医療事務の外部委託の拡大…5510万円

第2次行政改革大綱

本年度、「第2次能登町行政改革大綱および実施計画」を策定し大綱と実施計画の見直しを行いました。

行政改革の推進事項

○組織・機構の合理化

▽分庁方式（議会庁舎、能都庁舎、柳田庁舎、内浦庁舎）から「本

庁・支所方式」導入に向け推進

し、現在の支所出張所の廃止を検討します。

▽課の統合や業務分担を見直し

【選挙区】

西原 あきら（民主党）	3,767
おかだ 直樹（自由民主党）	6,967
近松 みき子（日本共産党）	428
無効投票	348
不足	1

【比例代表】

幸福実現党	32.857
みんなの党	683.750
民主党	3,031.410
女性党	32.142
自由民主党	4,975.320
新党改革	81.000
社会民主党	198.000
たちあがれ日本	88.123
日本創新党	29.000
国民新党	387.878
公明党	1,145.250
日本共産党	212.261
無効投票	607
不足	1

平成22年7月11日執行 参議院議員通常選挙開票結果

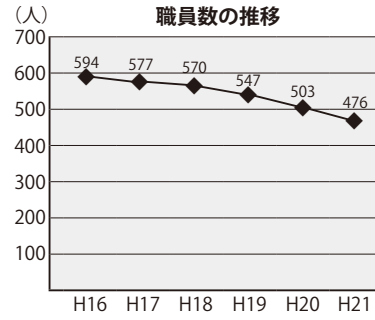
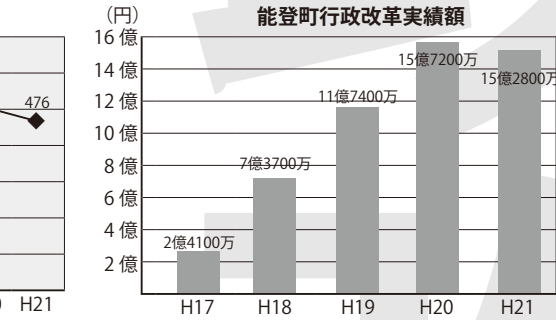
投票率は62.35%（選挙区）

第22回参議院議員通常選挙は、7月11日(日)に投票が行われ即日開票されました。選挙区の投票率は前回（平成19年7月29日執行）を2.05%下回る62.35%でした。

能登町の投票・開票結果は次のとおりです。

参議院選挙区選出議員選挙投票率

投票区	投票所	当日有権者数	投票者数	投票率
第1	能都社会福祉会館（能都庁舎）1階集会室	1,798	1,161	64.57
第2	宇出津小学校 1階ロビー	1,755	1,085	61.82
第3	ひばり保育所 遊戯室	906	598	66.00
第4	三波公民館 集会室	303	192	63.37
第5	矢波地区集会所	286	194	67.83
第6	神野公民館 ホール	598	382	63.88
第7	鵜川公民館 図書室	1,076	683	63.48
第8	瑞穂公民館 和室	704	445	63.21
第9	宮地生活改善センター 集会室	248	174	70.16
第10	柳田体育館	1,431	1,009	70.51
第11	小間生公民館 会議室	491	334	68.02
第12	上町地区生活改善センター 和室	821	550	66.99
第13	岩井戸公民館 会議室	229	159	69.43
第14	当目地区多目的研修集会センター	235	160	68.09
第15	斉和多目的集会所	205	158	77.07
第16	内浦福祉センター 1階集会場	1,945	1,101	56.61
第17	上区集会場	256	172	67.19
第18	不動寺公民館 集会室	515	324	62.91
第19	秋吉公民館 集会室	341	208	61.00
第20	白丸コミュニティ施設 多目的交流ホール	719	399	55.49
第21	能登勤労者プラザ 体育館	388	222	57.22
第22	小木地区活性化センター ロビー	1,958	1,064	54.34
第23	高倉保育所 遊戯室	1,048	592	56.49
第24	小浦地区集会所	205	145	70.73
	合 計	18,461	11,511	62.35



定員管理の適正化を図ります。

○窓口サービス等の向上

▽申請・手続きの簡素化、窓口業務の延長、複数手続きの対応の充実などにより、窓口サービスの向上を図ります。インターネットなどを利用した各種申請・届出などの事務手続きのオンラインシステムおよび受付体制整備の検討を進め、申請者の利便性向上を図ります。

○公共施設の適正管理と運営等の効率化

▽指定管理者制度の活用を図りながら、行政と民間との新たな役割分担の下、最も適した管理者によるサービス提供を行える体制を整えます。公共施設の必要性についても検証し、整理・統合を進めていきます。

○財政の健全化による安定基盤の確立

▽各種補助金等は、目的や効果を十分に精査し廃止および整理・合理化に努めます。

▽町が出資する法人（第三セクター）組織の整理統合を検討します。

▽費用対効果、官民の役割分担のあり方、施策の優先順位等を精査し、事務事業の徹底したス

クラブ・アンド・ビルドの推進に努めます。

▽町税等の収納率の向上および使用料等の受益者負担の適正化を図ります。

○事務事業の改善・効率化

▽行政と民間の役割分担および連携を検討し、民間委託を実施することが適切かつ効果的であり、事務の改善を行うことができると判断する事業については、積極的かつ計画的に民間委託を推進します。

▽事務事業の見直しとして、初期の目的を達成したもののや費用対効果の小さいものを積極的に廃止するなど一層の整理・合理化を進め、効率的な事務事業を推進します。

能登町行政改革評価委員会を設置

町は、社会情勢の変化に対応した簡素で効率的な町政の実現を推進し、行政改革に町民の意見を広く反映させることを目的に、能登町行政改革評価委員会を設置します。

総務課行財政改革室

☎62―8510

9/19日

第24回

猿鬼歩こう走が健康大会

【日時】9月19日 7:30～8:30 受付・健康診断（雨天決行）

【場所】柳田運動公園（柳田体育館・野球場）

【種目】☆走ろうの部：ハーフ・10km・5km・3km

※ハーフのみ、12時までの時間制限があります。

☆歩こうの部：せせらぎコース5km・やませみコース10km・猿鬼健脚コース13km（スタンプを押しながら巡ります）

【ゲストランナー】丸山和也氏（国際弁護士）

【参加費】走ろうの部：一般3,000円

高校生以下1,500円

歩こうの部：1,500円（年齢は問いません）

【申し込み】

○参加申込書に参加費を添えて最寄りの金融機関窓口へ（興能信用金庫の場合、手数料は不要）

○現金書留・郵便小為替で事務局へ郵送または直接

○インターネット・携帯サイト（<http://runnet.jp/>）

【申込用紙】

役場各庁舎窓口、各公民館、興能信用金庫各店窓口、教育委員会事務局などにあります。

【申込締切】8月23日 消印有効

※歩こうの部やませみ・せせらぎコースは当日申し込みが可能です。

【問い合わせ】大会事務局（教育委員会事務局内）

☎ 72-2509 FAX 72-2393

丸山和也氏講演会（大会記念講演）

「1パーセントの挑戦
～24時間マラソンの裏話～」



【日時】9月18日 18:00～19:20

【場所】柳田山村開発センター
（役場柳田庁舎裏）

【料金】無料

※駐車スペースが少ないので、できるだけ乗り合わせてご来場ください。

【PROFILE】

1946年兵庫県生まれ。69年早稲田大学法学部卒業、上級職試験合格後法務省を経て、70年に司法試験に合格。76年渡米。ワシントン大学ロースクールに入学し卒業（LLM）、その後ロサンゼルス法律事務所にて3年間勤務。80年に帰国後、弁理士登録を経て特許事務をも扱う。企業間の紛争・交渉等を中心とした国際法務を得意とする他、各種特許紛争および個人の問題も幅広く取り組む。07年、参議院選挙に当選。現在、「丸山国際法律事務所」代表。

夏の夜の恋路物語

8月8日 18:00～21:00

恋の伝説が伝わる恋路海岸で、約5000個の灯りをともします。ライトアップされた弁天島や灯りが織りなす幽玄な世界をお楽しみください。ステージイベントも予定しています。

【場所】恋路海岸

【日程】18:00～ 開会式（点灯式）

18:30～ ステージイベント

①松波唐獅子太鼓

②縄文女組太鼓

③石川二郎・三春千恵子歌謡ショー

④フラ・ハーラウ・カフラ・オ・ハワイ

石井恵子教室（フラダンス）

⑤洋山会（民謡・尺八）

港町宇出津 灯りフェスティバル

9月19日 18:00～21:00

【場所】宇出津地内

「灯りコンテスト」参加者募集

寺社、広場、公演など使ってガラスコップとロウソクで灯りの空間を演出してみませんか。企業、町内会、グループなど何人からでもOK！表彰、参加賞あり。

※ガラスコップとロウソクは事務局で用意します。

【申し込み・問い合わせ】

能登町商工会 ☎ 62-0181

キリコと灯りの祭典

8月21日 11:00～

四季を通じて能登の食材をアピールする「五感まるごと能登づくし」の一環として、今年も「キリコと灯りの祭典」を開催します。盛りだくさんのステージイベントと能登町の食材をお楽しみください。

【場所】柳田植物公園お祭り広場

【主なステージイベント】

伝統芸能

仮面ライダーWがやってくる！

クライマックスは音楽花火

【五感まるごと市】

能登牛、ブルーベリー、地酒など

【ゲスト歌手】

三木ひろし、黒木姉妹

【問い合わせ】

キリコと灯りの祭典実行委員会事務局

☎ 76-1680（植物公園内）

中国語教育旅行生が来町 中国の児童が日本の田舎を体験

石川県が誘致活動を進めている中国からの教育旅行。その第1回目のツアーが7月3日から6日間の日程で行われ、6日に児童や引率教員ら約40人が能登町を訪れました。

中国語教育生は、最初に能都中学校を訪問し生徒らと交流。剣道体験やうちわ作りを楽しみました。その後、春蘭の里の農家民宿10軒に分かれて1泊しました。農家民宿では、それぞれ野菜の収穫や料理の手伝いなど日本の田舎体験を用意。民宿のおやじさんやおかみさんは、中国語の本を片手に身ぶり手ぶりでコミュニケーションを取っていました。



おかみさんと野菜の収穫をする中国語教育生＝農家民宿「かきお」で

挿し木をしたのとキリシマツツジに水やりを行う生徒



能登高校・能登青翔高校合同授業 のとキリシマの挿し木を学ぶ

7月6日、能登高校地域創造科農業コース2年生12人と能登青翔高校生産科学科3年生が、のとキリシマツツジの挿し木の技術を学びました。この授業は、これまで能登青翔高校で続けられてきたのとキリシマツツジの挿し木や栽培の技術を能登高校に引き継ぐことを目的に実施されました。

能登高校の生徒は、能登青翔高校の生徒らに教わりながら新芽を切り取り、1本1本丁寧に挿していきました。6月の授業と併せて約1000本が挿し木されたのとキリシマツツジ。8月中旬ごろに発根し、10月ごろに鉢上げされる予定です。

「あじさい」の文字の形に並べられた灯り



あじさい花灯り回廊 アジサイと灯りの幻想的な競演

あじさい寺として親しまれる平等寺（寺分）で7月11日、能登ふるさと博のイベント「あじさい花灯り回廊」が行われました。平等寺には、住職の上野弘道さんが22年にわたって植栽した約130種4000株のアジサイが咲き誇っています。

実行委員長の本間侑さんは「雨模様ですが、灯りに照らされたアジサイを楽しんでください」とあいさつ。境内に並べられた約1500個の灯りが、色とりどりのアジサイを幻想的に照らしていました。本堂では太鼓演奏や歌謡ショーなども行われ、訪れた人たちを楽しませていました。

能登ふるさと博オープニングイベント 4市5町が元気な能登を発信

能登半島の伝統文化や食、自然の魅力を全国に発信する「能登ふるさと博」。そのオープニングイベントが、7月2日に宇出津港いやさか広場で行われました。谷本正憲県知事は「県、市町、住民が一体となって能登ふるさと博を盛り上げ、観光客の受け皿にしたい」とあいさつ。特設ステージでは、伝統芸能や太鼓演奏などが披露されました。メインイベントとして、アニメソングでおなじみの水木一郎さんのライブも行われ会場は熱気に包まれていました。



▲開会前、能都ロータリークラブが宇出津港いやさか広場に設置した眺望サインの序幕式が行われました。案内板には、広場から望む北アルプスの山々の名前や標高などが記されています

◀「マジンガーZ」や「デビルマン」など、おなじみのアニメソングを熱唱した「アニソンの帝王」水木一郎さん

7月

まちの出来事

能登町活性化プロジェクト最終発表会 恋愛成就バスツアーなどを提案

能登町の活性化策を研究する学習院大学・上田隆穂ゼミと法政大学・木村純子ゼミの学生約60人による研究発表会が、6月25日に国民宿舎能登うしつ荘で開かれました。

学生たちは今年2月にも能登町を訪問。フィールドワークや地元産業体験などを通じて考え抜いた「活性化策」をグループごとに披露しました。法政大学のグループは観光客数の増加を目標に掲げ、悲恋伝説が残る恋路海岸に着目。大学生をターゲットに恋愛成就の祈願を目的とした観光バスツアーや大学内のパソコン画面を使った広告などを提案していました。



活性化策を発表した学生たちに質問する参加者

社会を明るくする運動 犯罪や非行のない明るい社会を

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め明るい社会を築こうとする全国的な運動で、今年で60回目を迎えました。毎年7月の強調月間に合わせて、7月1日に珠洲・能登地区保護司会のメンバー8人が能都庁舎を訪れました。

政田ますみさんが法務大臣からのメッセージを持木町長に伝達。持木町長は、保護司の活動に感謝するとともに「犯罪のない地域づくりに取り組んでいきたい」とあいさつしました。この後、保護司会のメンバーは街頭広報活動に出発しました。



法務大臣のメッセージを伝達する政田さん

協力してプランターを運ぶ能登青翔高校の生徒



能登青翔高校「柳田フラワーロード計画」 サルビアが咲き誇る柳田地区

能登青翔高校が取り組む「柳田フラワーロード計画」。高校生ボランティア講座事業の一つとして、花のプランターを設置して通行人の心を和ませたいという思いから企画されました。

サルビアが植えられたプランターは、生産科学科の生徒が授業の一環として花の苗を育て、生徒全員で植えたものです。6月25日には、柳田地区の郵便局や体育館、公民館など6カ所にプランター50鉢を運び、設置しました。

高校生が丹精込めて育てたサルビア。中斉地区のサルビアロードと共に、能登町の夏を真っ赤に彩ります。

お願い	マイバッグ
マイバッグは地球温暖化防止の第一歩  環境対策課 ☎ 62-8507 レジ袋は、ごみとして燃やすときだけでなく、製造過程でも二酸化炭素が排出されます。 レジ袋 1 枚を使わないことで 60 ㍑の二酸化炭素排出を抑制することができます。石川県では、年間 3 億枚のレジ袋が使われているとされ、原料となる原油はドラム缶（200 ㍑）3 万本分にもなります。 温暖化防止と資源の有効活用のためにマイバッグの大切さを再認識しましょう。	
ニュース	町会区長会
町会長・区長に県知事表彰など 石川県町会区長会連合会の表彰式が 7 月 22 日、県地場産業振興センター（金沢市）で行われ、次の皆さんが表彰を受けました。（敬称略） 知事表彰：川端晃（錦町） 知事感謝状：岩井俊雄（中町） 県連合会長表彰：川端登喜夫（三番町）、辻野貞英（西安寺）、寺西喜久次（豊ヶ丘）、橋爪清次（田代）、上出八郎（四方山）、池崎裕治（明生） 	
お願い	能登消防署 ☎ 62-0492
花火は楽しく、安全に ①花火に書いてある遊び方を読む。 ②人に向けたり、燃えやすい物のそばでしない。 ③手持ち花火は手の位置に注意する。 ④風の強い日にはしない。 ⑤水を入れたバケツを用意する。 ⑥必ず大人と一緒に楽しむ。 ⑦一度にたくさんの花火をつけない。 ⑧正しい位置に、正しい方法で点火する。 ⑨筒ものの花火は途中で消えてものぞかない。 ⑩花火をポケットなどに入れない。 ⑪花火をほぐして遊ばない。 ※花火が終わったらごみはしっかり処理しましょう。	
税金	8 月の納期
町県民税第 2 期、国民健康保険税第 2 期の納期限は8月31日(火)です  税務課 ☎ 62-8505	

募集	空き家情報
あなたの空き家を登録しませんか  ふるさと振興課 ☎ 62-8532 空き家があるけれど「当分住む予定が無いので貸したい」、「売りたい」と思っている所有者の皆さん、空き家登録をしませんか。 能登町は、町内の空き家を、より良く活用するために昨年 12 月から「能登町空き家情報」事業を行っています。貸したい・売りたいと考える空き家の所有者が、空き家を町に登録申請します。その後、町が委託している能登町宅地建物取引業組合が登録可能かを調査し、登録可能ならばホームページ（http://notolife.com/）に掲載します。 「家が古いから」「空き家内に荷物があるから」と考えている人も相談に応じることができますので、お気軽にお問い合わせください。	
〈問い合わせ先〉 ・空き家情報登録の運用について ふるさと振興課 ☎ 62-8532 ・空き家・ホームページについて 能登町宅地建物取引業組合 ☎ 62-2022   空き家情報ホームページに掲載されている物件例	
お知らせ	児童扶養手当ほか
受給資格現況届を提出してください  健康福祉課 ☎ 72-2512 現在、児童扶養手当およびひとり親家庭等医療費受給認定を受けている人は、前年所得などの支給要件を確認するため、現況届を提出してください。 期間中に手続きをしない場合は、支給期日に手当が受けられなくなります。早めに手続きをしましょう。 〈手続期間〉8 月 2 日(月)～ 8 月 31 日(火) 〈必要な物〉 児童扶養手当（現況届、証書、養育費に関する申請書、印かん、保険証、住民票） ひとり親家庭等医療費（現況届、受給資格証、保険証） ※ 2 年間手続きをしない場合は、資格がなくなります。 ※ 父子家庭の児童扶養手当申請も始まります。	

【能登町役場】☎62-1000(代)		町民課☎62-8500 能都サービス室☎62-8500 ふるさと振興課☎62-8532 海洋深層水対策室☎62-8533 会計課☎62-8509	柳田サービス室☎76-8300 農業委員会☎76-8303 建設課☎76-8304	(健康推進)☎72-2504 (包括支援)☎72-2513 ねんりんピック推進室 ☎72-0555
能都庁舎（☎62-4506） 総務課☎62-8510 企画財政課☎62-8503 監理課☎62-8504 税務課☎62-8505 収納対策室☎62-8506 環境対策課☎62-8507		柳田庁舎（☎76-0039） 広報情報推進課☎76-8301 農林水産課☎76-8302	内浦庁舎（☎72-2108） 健康福祉課 (児童保育)☎72-2512 (医療介護)☎72-2502 (福祉庶務)☎72-2503	内浦サービス室☎72-2500 上下水道課☎72-2507 教育委員会事務局☎72-2509
		議会庁舎 議会事務局☎76-8310		

お知らせ	能登有料道路
能登有料道路の新割引制度が始まります  企画財政課 ☎ 62-8503 8 月 1 日から、町民の皆さんに対する能登有料道路通行料金の新たな割引制度が始まります。 この割引制度を利用する場合には、あらかじめ役場や県総合事務所、土木事務所の販売窓口で新割引通行券を購入する必要があります。 ◎新割引通行券の利用は平成 22 年 8 月 1 日(日)午前 0 時からです。 ◎新割引通行券の発売枚数は、一人 1 回当たり 10 枚を限度とします。 ◎現行の割引通行券の払戻しは行いませんが、8 月 1 日以降も利用可能です。 ※平成 22 年 8 月 31 日(火)までの間、販売窓口にて申請書を記入し差額分を負担することで、新割引通行券との交換も可能です。交換は全区間未使用のものに限ります ◎発売場所、発売方法はこれまでと変わりません。 料金表については 7 月配布のチラシまたは町ホームページをご覧ください。	

募集	町営住宅情報
町営住宅の入居者を募集します  建設課 ☎ 76-8304 〈募集期間〉8 月 11 日(木)まで 〈対象住宅〉 わすみ団地 1 戸（3LDK） 上町ほ字 27 番地 家賃 月額 35,000 円 〈入居資格〉 ①能登町に住所を有する人（予定者を含む） ②住宅に困窮していることが明らかな人 ③町税などの滞納がない人 ④収入基準 入居者の所得 月額が 158,000 円超 ⑤単身の人は、ご遠慮いただくことがあります 	

募集	パブリックコメント
能登町過疎地域自立促進計画(案)パブリックコメント(住民意見)募集  企画財政課 ☎ 62-8503 能登町は、今後 6 年間（平成 22 年度～ 27 年度）の過疎地域自立促進の指針となる新しい計画の策定を進めています。このほど、計画（案）を取りまとめましたので、この計画を広く公開し皆さんからのご意見を下記要領で募集します。 ①ご意見の提出期限 平成 22 年 8 月 16 日(月)まで ②ご意見の提出方法 住所、氏名、連絡先を明記のうえ、次のいずれかの方法で提出してください。（様式は任意） (1) 電子メールの場合 メールアドレス：kikakuzaisei@town.noto.lg.jp (2) F A X の場合 F A X 番号：0768-62-4506 (3) 郵送の場合 〒 927-0492 能登町字宇出津新 1 字 197 番地 1 能登町企画財政課 企画係 あて (4) 直接持参 能登町企画財政課（能都庁舎 2 階） ③公表資料の閲覧方法 計画（案）は各庁舎（能都・柳田・内浦サービス室）窓口で閲覧できます。町ホームページでも公開しています。 ④その他 お寄せいただいたご意見は、担当課で整理・集約したうえで、町の考え方と共に公表する予定です。このため、個々のご意見に対して個別に回答しませんので、あらかじめご了承ください。 	

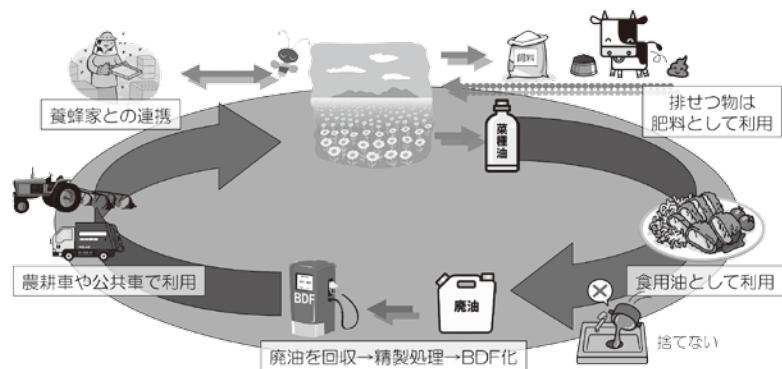
バイオカ8

バイオマスの利活用
― BDF化事業 ―

使用済み食用油や菜種油などを原料にバイオディーゼル燃料（BDF）を作ることができます。このBDFをバスやトラック、建設用機械などに多く利用されている軽油の代わりに使おうという試みが全国的に進んでいます。

食用油を捨てずに再利用することは、川や海の水質汚染防止にも役立ちます。BDFは、植物資源が原料なので、地球温暖化防止につながります。また、軽油に比べて大気汚染の原因となる物質が少ないという特徴もあります。

能登町バイオスタウン構想でも、家庭から出る使用済み食用油の回収・資源化のシステムづくりや、耕作放棄地などにBDFの資源作物を栽培することなどが検討されています。



BDF化事業
イメージ図

【全国の先進事例紹介】京都市

京都市では、地球温暖化の防止と持続可能な循環型社会の構築に向けて、市民・事業者および行政が連携して家庭や事業所から排出される廃食用油を回収し、利活用するバイオディーゼル燃料化事業を推進しています。この取り組みには①化石燃料の使用抑制による地球温暖化防止②環境に優しい低公害燃料③市民啓発（環境意識の向上）などの効果があります。

現在、家庭からの廃食用油の回収拠点は市内1000拠点以上、回収量は年間15万リットルとなるなど取り組みの輪が大きく広がってきています。

製造されたバイオディーゼル燃料150万リットルは、ごみ収集車220台、市バス95台などに利用されています。



※参考：㈹日本有機資源協会「バイオマスマニッポン」

多文化共生のつばら

今年18日は柳田で国際交流サロン

地域住民の皆さんと在住外国人とが交流する初めての「能登国際交流サロン」は、イギリスやドイツから来日した外国人を含む約25人が参加し、6月16日に内浦スポーツ研修センターで開催されました。

初めに能登町とイギリスを往復して活動している抒情書家の室谷文音さんが、イギリスでの暮らしについて講演。参加者によるフリートーキングでは「能登町に国際交流協会を設立してほしい」「中国語を学びたい



さまざまな意見が出されたフリートーキング

いなど活発な意見が出ました。第2回サロンは、8月18日(水)に柳田山村開発センターで開催し中国語による基本的な日常会話をみんなで楽しく勉強したいと思っています。



ポールさんを中心に英語でのコミュニケーションを楽しむ参加者

柳田公民館でイングリッシュ・コミュニケーション・クラブ

多文化共生の一環として柳田公民館が主催した「イングリッシュ・コミュニケーション・クラブ」が6月29日、柳田山村開発センターで開催されました。

このクラブは、ドイツ出身の能登町に来日しているポール・ムタスさんを招き、英語でのコミュニケーションを楽しんでもらおうと企画されました。

この日は、能都地区や柳田地区の女性10人が参加。英語で隣の人を紹介したり、英語で連想ゲームをするなど、簡単な英語でもコミュニケーションが図れることを体験しました。ポールさんは「この場をきっかけにして、英語を話すことにもっと自信を持つてもらえればうれしい」と話していました。

平成22年度

納税貯蓄組合表彰式

6月30日、平成22年度の能登町納税貯蓄組合表彰式が能都庁舎で行われ、次の皆さんが表彰を受けました。

長表彰

▽松浦健吉（浜出町）

能登町納税貯蓄組合連合会長表彰

▽組合長名（組合名）敬称略
能登町長表彰

▽加藤三千雄（酒垂町）▽久田静児（昭和町）▽笠原春雄（大棚木あけぼの）▽安田笑美子（波並西出組）▽坂本喜美枝（波並東出組）▽薬師錦一（矢波浜出組）▽谷内静雄（小間生）▽中橋宇機雄（久田第3）▽小坂礼次（上出町）▽出島健二（山口第2）▽番匠尚美（高浜第2）

輪島地区税務協議会長表彰

▽谷口和雄（鶴川栄町）

奥能登地方税務協議会長表彰

▽高井邦夫（八の田）

輪島地区納税貯蓄組合連合会



【入札結果】 6月16日～7月15日

広報紙では、契約金額が500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。 監理課 ☎62-8504

件名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
公共下水道事業（松波処理区）雨水函渠工事 その1	松波	上下水道課	28,350,000	(株)西中建設
公共下水道事業（松波処理区）雨水函渠工事 その2	松波	上下水道課	28,665,000	興信工業(株)
公共下水道事業（松波処理区）雨水函渠工事 その3	松波	上下水道課	28,560,000	(株)サンテック
公共下水道事業（松波処理区）路面本復旧工事	松波	上下水道課	14,910,000	北川ヒューテック(株)
秋吉公民館改修工事	秋吉	教育委員会事務局	7,770,000	(株)西中建設
柳田地区 鈴ヶ嶺工区 農道舗装工事	鈴ヶ嶺	農林水産課	5,985,000	島屋建設(株)
モデル農場管理棟 建築工事	上町	農林水産課	7,980,000	北能産業(株)
超音波白内障手術装置購入	宇出津	病院	7,035,000	富木医療器(株)
町道2級笹川十郎原1号線 道路改良工事（舗装工）	十郎原	建設課	12,495,000	島屋建設(株)
凍結防止剤散布車（乾式 2.5 m級）購入	柳田	建設課	15,540,000	能登建販(株)
公共下水道事業（松波処理区）管渠築造工事 その2	松波	上下水道課	21,315,000	(株)西中建設
気象観測口ボット整備工事	上町	広報情報推進課	7,192,500	シンワ通信工業(株) 能登支店

能登

EnjoyNoto
奥能登イベント情報

能登町からは「夏の夜の恋路物語」を紹介。

輪島市



○帆船「日本丸」がマリンタウン初入港
期日：8月22日(日)～8月26日(木)
〈見所〉今年の輪島大祭にあわせて帆船「日本丸」が輪島港マリンタウンに初入港します。入港中は各種の行事が予定されています。ぜひ皆さんも足を運んでください。

珠洲市



○太鼓と踊りの夕べ
日時：8月16日(日)18:30～
〈見所〉鉢ヶ崎わくわく夢ランドで行われる夏の恒例イベント。地元蛸島町の弁天夢太鼓をはじめ、県内の太鼓チームが多数参加します。

穴水町



○能登ふるさと博 灯りでつなぐ能登半島
『カフェ・ローエル』
日時：8月28日(土) 13:00～21:30
場所：穴水町市街地
〈見所〉幻想的な能登のもてなし、穴水町では手づくりオブジェで、皆さまをお迎えします。
☎のとシフト ☎ 0768-52-3645

今日のオプスナ！



おひとりさま介護
■村田くみ
実体験と最新の介護情報満載の介護入門書。

求天記
■加藤 廣
蔵流島。それは、仕組まれた小次郎暗殺の舞台。



8月の新刊案内

鬼九郎孤月剣 高橋克彦
小暮写真館 宮部みゆき
乳のごとき故郷 藤沢周平
祈望 藤崎慎吾
雨心中 唯川 恵
監察医の涙 上野正彦
考えない練習 小池龍之介

行事あんない

■おはなし会 14日(土)・18日(水) 14:30
■おはなし学習会 11日(水) 19:30
■おはなし勉強会 15日(日) 13:30
■読書会 25日(水) 13:30

〈開館時間〉水～日曜日 9:00～17:00
〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日

児童館だより

こどもみらいセンター ☎ 62-1503 ★：対象未就園児の親子

◆開館時間 9:15～17:30 ◆休館日 月曜日、第3日曜日
3日(火) 15:30 ミニノーム劇場 ※5、12、17、19、24、26、31日も開催
4日(水) 10:30 ★支援プール ※6、11日も開催
10日(火) 13:30 遊びのチャンピオン大会
20日(金) 10:30 ★ふれあいタイム
25日(水) 16:30 ノーム夏祭り
27日(金) 10:30 ★身体計測

まつなみキッズセンター ☎ 72-0269

◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日、14日
4日(水) 15:00 納涼ミニお茶会
7日(土) 14:00 読み聞かせボランティア「ひまわり」
11日(水) 15:30 あっぶるたいむ「こどもミニ夏まつり」※松波公民館と合同
13日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習)※27日(金)も
21日(土) 14:00 読み聞かせボランティア「ひまわり」

中央図書館 (宇出津公民館内)
☎ 62-3458

図書館へおいでよ

第23回全国健康福祉祭いしかわ大会 ねんりんピック石川2010 平成22年10月9日(土)～12日(火) 光る汗! 輝くいしかわ 笑顔の輪



■出場選手紹介(チーム能登)



【監督】中平義則(山田)
【選手】太島彰信(崎山)、高山邦夫(瑞穂)、笠原春雄(宇出津)
滝井元之(穴水町)、中まち子(輪島市)、小上防博子(輪島市)
幸地利子(宇出津)、船本洋子(輪島市)

Q ソフトテニスが続けることができた健康の秘訣は

- ・子どもたちと一生懸命ソフトテニスをしてきたことです。常に一生懸命です。(滝井)
- ・ソフトテニスが大好き。ソフトテニスを通し出会う人々との交流が楽しく、共に全国大会を目指してきたこと。(小上防)
- ・50歳になり健康のことを考え、輪島早朝暁クラブに入れていただき今に至ります。(船本)
- ・スポーツ少年団で指導者として、小中学生と共にソフトテニスを楽しんできたこと。(笠原)
- ・テニスを1年でも長く続けたいので、何をするのもトレーニングだと思って工夫している(中)

Q ねんりんピック石川2010に向けての意気込みを

- ・チーム全員が心を1つにして練習し、大会までの健康管理に気をつけて決勝トーナメント進出を目指します。(中平)
- ・ねんりんピック出場は4回目になるが、地元開催は意義深い。今までの集大成の場とし、悔いのない試合をしたい。(太島)
- ・皆さんの足なるべく引っ張らないよう、楽しみながら頑張りたいと思っています。(幸地)
- ・全国の愛好者と触れ合うことを楽しみに、健康に努め、練習に励み、「チーム能登」の勝利を目指して頑張ります。(高山)



※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告により掲載しています。

楽しみましょう(ご案内)

町民グラウンドゴルフ交流大会

当日は能登国際女子オープンテニス・ご当地グルメフェアも開催中。
〈日時〉9月12日(日) 受付 7:30～
〈会場〉藤波運動公園 ※参加費無料
〈競技〉団体:1チーム4人制(原則町内会単位・協会員は各チーム2人まで)
個人:初心者も歓迎します。
〈対象〉能登町民(中学生以上)
〈申込期限〉9月3日(金)
〈申し込み〉各体育館、各公民館、藤波運動公園まで
☎教育委員会事務局 ☎ 72-2509

平成22年度能登町民野球大会

参加チームを募集します。詳細については、申し込み後に各チームの代表者に連絡します。
〈日程〉8月15日(日) 9:00～
〈場所〉能都野球場
〈参加費〉1チーム3,000円
〈申込期限〉8月11日(水)
☎能登町野球協会事務局
(能登消防署) 川本 ☎ 62-0492

がんばりました(結果)

全能登中学校柔道大会県体予選会(6/19)

〈団体戦〉③能都中学校
〈個人戦〉
55kg以下級 ②山本達也 ③和田拓巳
73kg以下級 ③山本竜之介

第26回桐野尾杯争奪少年バドミントン大会(6/26)

〈男子小4以下〉②山本幸太 ベスト
8 新出拓哉、木戸陸成

■物販コーナーの出店者を募集します

ねんりんピック石川2010ソフトテニス交流大会に全国から参加する監督・選手の利便と、町特産品などのPR・販売促進を図るため、次のとおり出店者を募集します。なお、応募多数の場合は調整します。

日時 10月10日(日) 9:00～16:30
10月11日(月) 9:00～16:00
場所 のとスポーツピアツツア(藤波運動公園内)
販売物品 能登の特産・土産品、記念グッズなど
区画 屋外テント 間口2.7m×奥行き3.6m
出店料金 無料
参加人数 全国から選手・関係者などおよそ1,000人
申込締切 8月20日(金)

☎健康福祉課ねんりんピック推進室 ☎ 72-0555

〈女子小4以下〉①中谷心萌 ②新出
顕名 ベスト8 佐賀瑞紀、中前りか
〈男子小5〉①谷口諒真
〈女子小5〉ベスト8 山根あやめ、藤
巻志歩、高田采佳
〈男子中1〉①紙子恭輔 ②隅屋太郎
③中前康太郎 ベスト8 勘平凌我、
乙川一馬、安孫周
〈女子中1〉ベスト8 高田七海、蒲田
瑞季、皆月麻友子
〈女子中2〉ベスト8 谷口朱里

王将杯将棋大会(6/20)

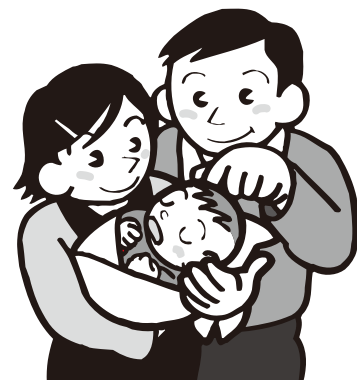
〈A級〉①垣内芳明 ②山下武司
〈B級〉①谷内一郎 ②水滝信二
③綱屋保治 ④新谷正巳

■柳田中学校

石川県中学校陸上競技大会(6/26)
〈共通砲丸投〉⑥向口和馬 10m 00

中学校通信陸上競技大会石川大会(7/10)
〈共通砲丸投〉⑧向口和馬 10m 56

不妊治療費を助成しています



不妊治療を行う夫婦の経済的負担を軽減するため、不妊治療費支援事業を実施しています。不妊治療費の助成制度には「**一般不妊治療費**」と「**特定不妊治療費**」の2種類があります。

区分	治療の種類	実施医療機関	助成期間	助成金額	助成対象者	申請期間	申請・問い合わせ
一般不妊治療	タイミング療法 薬物治療 手術療法 人工授精 など	産婦人科や泌尿器科を有する医療機関	連続2年間 やむを得ない事情により治療を中断した期間を除く	5万円／年 ただし自己負担額の1/2以内	○治療を開始した日の1年以上前から町内に住所を有する人 ○医療保険加入者 ○夫婦合算の前年所得が730万円未満の人	治療を開始した月の翌月の初日から起算して2年以内	健康福祉課 ☎ 72-2504
特定不妊治療	体外受精 顕微授精	産婦人科のうち県が指定する医療機関	通算5年間 (連続でも隔年でも可)	1回の治療につき15万円 まで (1年度あたり2回を限度)	○県内に住所を有し、指定医療機関で治療を行っている戸籍上の夫婦 ○夫婦合算の前年所得が730万円未満の人	治療を終了した日の属する年度内に申請	県保健福祉センター ☎ 0768-22-2011 または 健康福祉課 ☎ 72-2504

※詳しい申請方法はお問い合わせください

平成22年4月診療分から町が上乘せしている助成内容（特定不妊治療費）

区分	助成期間	助成金額	助成対象者	必要書類	申請期間	申請・問い合わせ
町の上乗せ分	通算5年間 (連続でも隔年でも可)	石川県特定不妊治療費助成額を除いた費用の7割相当額 1回の治療につき17万5千円まで (1年度あたり2回を限度)	○石川県特定不妊治療費助成承認決定を受けた人 ○申請日において1年以上前から町内に住所を有する人	○石川県特定不妊治療費助成承認決定通知書の写し ○特定不妊治療に要した領収書の写し ○夫婦それぞれの所得証明書	治療を終了した日の属する年度内に申請	健康福祉課 ☎ 72-2504

能登北部医師会休日当番医（8月） 9:00～12:00

※都合により当番医が変更になる場合がありますので、あらかじめ電話してから受診してください。

8月1日(日)	8月8日(日)	8月15日(日)	8月22日(日)	8月29日(日)
生垣医院 (能登町柳田) ☎ 76-0001	井端内科医院 (珠洲市宝立町) ☎ 84-2535	千間内科クリニック (能登町宇出津) ☎ 62-1001	みちした内科クリニック (珠洲市飯田町) ☎ 82-0877	小木診療所 (能登町小木) ☎ 74-0100
北川内科クリニック (穴水町大町) ☎ 0768-52-3555	船木クリニック (輪島市釜屋谷町) ☎ 0768-23-0866	まるおかクリニック (穴水町川島) ☎ 0768-52-8228	定梶医院 (輪島市門前町) ☎ 0768-45-1351	宮下医院 (輪島市三井町) ☎ 0768-26-1311

3歳児健診

〈日 時〉8月26日(木) 〈受付時間〉13:00～13:15
 〈対象児〉平成19年5月2日～6月4日生まれ
 〈場 所〉能都庁舎 4階大集会場
 〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、採尿容器
 〈担 当〉医師、歯科医師、歯科衛生士、保健師、栄養士、保育士



乳児健診・BCG接種

〈日 時〉9月2日(木) 〈受付時間〉12:45～13:00
 〈対象児〉平成22年4月6日～5月23日生まれ
 〈場 所〉能都庁舎 1階集会室
 〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、BCG 予診票、バスタオル
 〈担当医〉乳児健診：公立宇出津総合病院小児科医師
 BCG 接種：千間医師

1歳6カ月児健診

〈日 時〉9月30日(木) 〈受付時間〉13:00～13:15
 〈場 所〉能都庁舎 1階集会室
 〈対象児〉平成21年1月1日～2月14日生まれ
 〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票
 〈担 当〉医師、歯科医師、歯科衛生士、保健師、栄養士、保育士

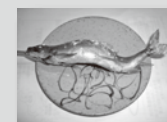
献血のお知らせ

役場内浦庁舎
 〈日 時〉8月10日(火) 12:30～16:30
 役場小木支所
 〈日 時〉8月11日(水) 9:00～12:00 13:00～15:00

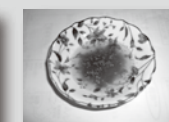
作って・食べてみよう！能登町ふるさと自慢料理（毎月19日は家族団らん食育の日）

【レシピ3】
 蓼（タデ）酢・蓼味噌
 ・タデ酢
 〈材料〉
 タデ・みりん・酢・塩

〈作り方〉
 ①田のあぜなどに生えている、辛みのやわらかい「青タデ」をすり鉢ですり・みりん・酢・塩で味を調えた「タデ酢」は、焼き鮎に添えて食します。
 ②白味噌・田舎味噌・みりん味を調えた「タデ味噌」は、冷ややっこなどにつけて食べるとおいしくいただけます。



焼き鮎



タデ酢

・タデ味噌
 〈材料〉
 タデ・田舎味噌・白味噌・みりん



タデ

「タデ食う虫も好き好き」のことわざで知られるタデは、日本の伝統的ハーブの1つです。ピリッとした辛みが特徴で、主に和食の薬味に使われる「紅タデ」は刺身のツマにするのが一般的です。

文：新谷他栄子さん（笹川） 料理提供：かじ旅館（笹川）

公立宇出津総合病院 だより

☎ 62-1311
<http://www.hospitalnet.jp/>
 診療情報は、病院ホームページで確認できます。

■番号札による順番受付をはじめます

8月2日(月)から外科・内科・循環器科において、受付時に患者さんへ診察順番を示す番号札（予約者、処置のみの患者除く）をお渡しします。各関係外来の掲示版に「診察中」の番号を掲示しますので、そちらをご覧ください。その待ち時間を把握することができるようになります。
 診察券の受付開始時間は、これまでどおり午前7時。診察券を投入した人の番号札の配布開始時間は、午前8時30分です。

■8月から整形外科の常勤医師増員

毎週金曜日に診察している中川慎太郎医師が常勤となり、8月から毎日2人体制で診察を行います。
 受付時間はこれまでと変更ありません。

整形外科医師 富所 潤（とみどころじゅん）
 中川慎太郎（なかがわしんたろう）
 診療受付時間 毎週月～金曜日 午前9時～11時30分

お知らせ

県産材使用の住宅建築補助制度

県では、県産材の良さを広く県民に知ってもらうために、「いしかわの木が見える家」の建築を推進します。
〈申込要件〉応募の対象者は、県内に自ら居住するために、以下のすべての条件を備えた住宅を新築または増改築する人
①県が認定する「いしかわの木が見える家づくり推進事業者」（以下、推進事業者）が建築する住宅
②推進事業者が提案する「いしかわの木が見える家」の事例を活用した住宅
③県産材（県産材産地・合法木材証明書の添付）を5㎡以上使用した住宅
④延べ床面積70㎡以上の住宅（新築または新築住宅を購入する場合のみ）
〈申込期限〉10月抽選分：9月末日
12月抽選分：11月末日 2月抽選分：平成23年1月末日
〈助成戸数〉年間70戸
※申し込み多数の場合は抽選になります。

〈助成金額〉1戸あたり10万円
※この制度に応募し、抽選の結果、落選した人は町の助成を受けることができます。詳しくは町農林水産課までお問い合わせください。
☎県奥能登農林総合事務所 ☎26-2329
町農林水産課 ☎76-8302



安全航行・安全操業に努めよう

船舶事故が多発しています。見張りを怠ることなく、安全航行・安全操業に努めましょう。
☎能登海上保安署 ☎74-8118

地域で在宅緩和ケアを支えよう

緩和ケアとは、がんにかかった人の痛みやつらさを軽くして毎日の生活を充実して過ごせるように手助けすることです。在宅での緩和ケアを推進し、支えるための地域のシステムづくりにどのように取り組んでいけばよいかを一緒に考えてみませんか
〈日時〉9月11日(土) 14:00～17:00
〈場所〉七尾サンライフプラザ
〈申込締切〉8月31日(火)
〈参加費〉無料
〈対象〉医療関係者、地域住民
☎県立看護大学附属地域ケア総合センター ☎076-281-8308

講座・講習

能登杜氏「夏期酒造講習会」開催

能登杜氏は、全国に誇る高い技術をもった職人集団です。現役杜氏から酒造りについて、酒蔵での作業などを学んでみませんか。
〈日時〉8月24日(火) 13:30～8月25日(水) 9:00～12:00
〈場所〉珠洲市商工会議所
〈内容〉
○雇用保険手続きの説明 ハローワーク
○酒屋の仕事について 櫻田酒蔵(株) 櫻田 博克氏
○酒米の話 黄桜(株)専務取締役 岩井 芳則氏
○酒造りの知識について (株)車多酒造杜氏 岡田 謙治氏
○酒造工程における安全作業 (合名)中島酒造店 中島 浩司氏
〈対象〉求職者
☎町雇用創出連絡協議会 ☎62-4154



岡田謙治杜氏

求職者はぜひ聞いてみませんか

休耕田を活用して、「食べる人・作る人・大地」が共に健康でいられる農業の実践から「雇用創出」のヒントを探りましょう。収穫した米粉を利用したパン作り体験も行います。
〈テーマ〉「農業による地域の活性化を目指して」～能登の自然を活かした、ビジネス創出～
〈講師〉上乘秀雄さん
〈日時〉8月4日(水) 10:00～
〈場所〉ケロンの小さな村
〈参加費〉500円（昼食代）
〈定員〉10人（定員に達し次第締切）
〈対象〉求職者、事業主、興味のある人など
☎町雇用創出連絡協議会 ☎62-4154

介護福祉士国家試験準備講習会

介護福祉士国家試験の受験を予定している人を対象に、筆記試験の受験対策のための講習会を開催します。福祉の職場へ再就職のための資格取得や、福祉の職場で働いていて、スキルアップを目指す人を応援します。
〈日時〉8月26日、9月9日、9月30日、10月14日、10月28日、11月11日、11月25日 木曜日全7回 9:30～16:30
〈場所〉ワークパル七尾
〈申込締切〉8月19日(木)
〈受講料〉21,000円
〈内容〉各試験科目ごとの出題の傾向と対策、抑えておくべき重要項目の解説、過去問題の演習と解説など
☎県福祉人材センター ☎076-234-1151 FAX 076-234-1153

責任技術者認定試験のお知らせ

下水道排水設備工事責任技術者認定試験を行います。
〈日時〉10月13日(水) 13:30～
〈場所〉県地場産業振興センター
〈申込期間〉8月2日(月)～8月13日(金)
〈実施機関〉日本下水道協会石川県支部
☎町上下水道課 ☎72-2507

募集

県政学習バスに参加しませんか

〈対象〉奥能登4市町在住の成人男女
①金沢日帰りコース
～今、気になる施設見学～
10月7日(木)（いしかわエコハウス、しいのき迎賓館、河北門・金沢城公園など）
②金沢・山中1泊コース
～金沢・山中周辺の施設見学コース～
10月21日(木)～22日(金)（山中温泉芭蕉の館、山中漆器産業技術センター、いしかわ動物園、しいのき迎賓館など）
〈定員〉各コース48人（申し込み多数の場合は抽選で決定）
〈参加費用〉コースにより異なります
〈申込期間〉8月4日(水)～8月25日(水)
〈申込方法〉往復はがきでの申し込みが必要です。1枚で5人まで申し込みが可能ですのでお問い合わせください。
☎県奥能登総合事務所 企画振興課 ☎0768-26-2303

放送大学10月生を募集します

放送大学は、テレビやラジオなどの放送で授業をおこなう通信制の大学です。詳しい資料を無料で送付します。
〈対象〉15歳以上なら1科目から入学できます。18歳以上で大学入学資格を持っている人は無試験で入学可。
〈申込期限〉8月31日(火)
〈大学説明会〉10:30～12:00
8月7日(土)・8日(日)、8月21日(土)・22日(日)
☎放送大学石川学習センター ☎076-246-4029

相談

家庭教育やDVで悩んでいたら

能登町なんでも相談「カナリア」
相談電話番号 ☎76-2874

〈相談日時〉毎週火、木曜日 10:00～14:00
※祝日、年末年始、お盆時期は休み

能登法律相談センターの相談日

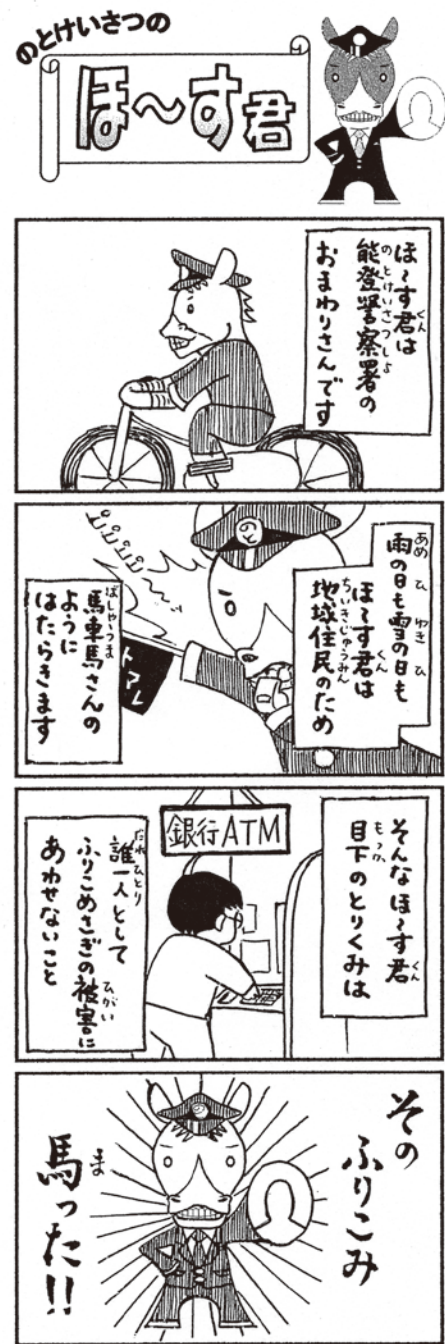
〈8月〉5日、19日26日（木曜日）
〈時間〉13:45～16:15（要予約）
〈場所〉穴水町保健センター
〈申し込み〉相談日前日の午後5時までに電話で予約ください。
〈相談料〉30分以内：5,000円
☎金沢弁護士会 ☎076-221-0242

心配ごと相談をご利用ください

■能都庁舎
9日(月)、19日(木) 10:00～12:00
■笹ゆり荘
10日(火)、24日(火) 10:00～12:00
■内浦福祉センター
10日(火) 13:30～15:30
■小木支所
20日(金) 13:30～15:30
☎社会福祉協議会 ☎72-2322

職場のトラブル解決をサポート

石川労働局では、労働関係に関する事項においての個々の労働者と事業主との紛争について、無料で迅速な解決を促進することを目的に「総合労働相談コーナー」による情報提供・相談などの解決援助サービスなどを提供しています。労働者はもちろん、事業主からの相談も受け付けています。詳細については、石川労働局ホームページ相談窓口一覧などで確認してください。
☎石川労働局企画室総合労働相談コーナー ☎076-265-4432



能登空港 INFO. 能登空港8月のイベント

8月1日(日) 13:30～
◎おらが故郷お国自慢
出演者：ちょんがり保存会
8月8日(日) 10:00～15:00
◎のっぴーグラスを作ろう
対象者：幼児から限定50人
8月22日(日) 13:30～
◎おらが故郷お国自慢
出演者：西湊鬼楽太鼓
☎能登空港賑わい創出実行委員会 ☎0768-26-2303

